## <u>職 員 研修体系</u>

京都府職員研修・研究支援センター

		研修名(人権研修テーマ)	対 象	人権	問題以外の研修内容
	センター研修 職務基本コース	新規採用職員研修(前期) (人権問題の現状)	<b>公田位田</b>	府政の概	ほ要・課題、他方公務員制度 他
		新規採用職員研修(後期) (人権問題の現状と課題)	新規採用者	政策形成	・・立案、社会福祉施設体験 他
職		新規採用フォロー研修 (人権問題の現状と課題・グループi議)	採用3年目	府政の重	点、政策企画力向上 他
440		一般職員研修 (総合) (個別の人権問題の現状と課題)	採用5年目	公務員倫	理、政策形成研究 他
員		新任専門員研修 (人権問題の現状と課題・ワークショップ)	専門員昇任者	府政の重	点、業務改善 他
研		ワークリーダー研修 (府の人権行政の推進方針)	係長級昇任者	公務員倫	理、ステージ3(科目選択)他
修		新任管理者研修 ( 府の人権行政の推進方針 )	課長級昇任者	公務員倫	理、コミュニケーション能力向上
		管理職特別研修 (様々な人権問題の現状・課題)	部・課長、参事	時事課題	
		研 修 名	対	<b>R</b>	研修内容
	職場研修 職場学習支援コース	人権問題職場研修指導者研修	人権問題職場研修	<b>多指導者</b>	
		人権問題職場研修主任研修	人権問題職場研修	<b>多主任</b>	職場研修指導者・主任の責務 人権問題職場研修の進め方
		人権問題職場研修指導者 ・主任現地研修	人権問題職場研修指導者 ・主任		大権同題報場研修の定じの 参加型職場研修の実践方法 人権問題の幅広い知識 等
		人権講座	人権問題職場研修	<b>修指導者</b>	
* 「人;	権問題」の科目のある研修コースを抜粋	人権問題特別研修	全職員		人権問題の現状と課題

## 平成17年度人権教育・啓発事業実施状況(研修事業)

1	事業名	京都府職員人権	問題研修	(職務基本	コース)			2 担当	課(室)	京都府職員	研修・研究。	支援センター
3	研修設定の意図及	人権尊重の理念な職員を育成し	念や様々な	な人権問題σ	)本質と現状・	課題を認識	ぱし、問題解決	に積極的に	取り組むる	ことができ	る人権意識の	高い人間性豊か
	び具体的目標	な職員を育成して	ていくたと	め、職員の拐	採用年次や職位	により指名	「職務基本	ゝコース」	研修の重要	なテーマとし	て人権問題研修	
		を実施する。										
4	対象者	採用年次や職位	こより指律	名する職員				5 17年	度の参加者	数		4 4 人
	研修名	新規採用職員研修	⑧ 前期)	新規採用職	員研修(後期)	新規採用	フォロー研修	一般	職員研修	(総合)	一般職員研修	多
	対象者	平成	17年度新	規採用職員		平成15年	度採用職員(3年	E目 ) 平成1	3年度採用職	員(5年目)	平成8・9年	F度採用協約職員
実											等(10年目)	
施	参加者数内訳	6 4 人		70人		66人		4 2			3 9 人	
状	6 開催期日	平成17年4月	8 日	平成17年	10月12日	平成18	年 2 月 1 4 日		17年11	月11日	平成17年	10月5日
況	7 会場	京都府職員研修・研究支	援センター	同左		同左		同方			同左	
	8 研修テーマ	同和問題等人権	問題の現	人権問題の	国際潮流と行	同和問題	等の現状と課題	□ 障害・	者問題の現	状と課題	同和問題等	人権問題の現状
		状と課題		政の動向							と課題	
	9 講師等	願念寺住職 鈴っ	木仁修氏	京都府人権		京都府職員研修・	研究支援センター		障害者更生		願念寺住職	鈴木仁修氏
1				藤田育	主任	次長 桂敏哲	、研修室長 前田旅	対のき	施設長 沼	津雅子氏		
	10研修手法	講義		講義			デオ鑑賞とグループ討議)	講義		-	講義	
	研修名	新任専門員研修		ワークリー	ダー研修	新任管理	者研修	1 管	含理職特別的	研修		
	対象者	平成17年度専門	員昇任者		係長級昇任者	平成17年	度課長級昇任者	立	『長級及び詞	課長級の全	職員	
実	参加者数内訳 6 開催期日	50人		136人		79人			3 6人		262人	
施	6 開催期日	平成17年7月	12日	平成17年	6月7日		年5月25日	平成	17年8月	18日	平成17年8	
┨状	7 会場	京都府職員研修・研究支	援センター	同左		同左		京都	ルビノ堀川		京都ルビノ坎	屈川
況	8 研修テーマ	共に生きる社会をつく		新京都府人 推進計画等		新京都府  進計画等	人権教育・啓 の推進	発推 児童	虐待につい	て	高齢者虐待	こついて
	9 講師等	(株)クローハ゛ルコンテンツイ	と 表取締	京都府人権	<u>終発推</u> 進室		<u>花。</u> 権啓発推進室	京都	第二赤十字	病院	仏教大学教技	<del></del>
	O MISHING	役 岩山 仁氏	O DC - IX Majo	浅野浩司	17.7.2.二 推進係長	平岡幹	以室長	院院	長澤田	淳氏	永和良之即	<del>负氏</del>
	10 研修手法	講義・ワーク	7ショッフ <sup>°</sup>	<del></del>		講義	<u> </u>	講義	<u> </u>	73-20	講義	9320
11	アンケート等	実施している	. 47.	H1332		1 41 3 3 2		1 81332			1 413 320	
			<ul> <li>一般暗</li> </ul>	遺には、公	務員として人権	問題に関	する様々な課題	原をより広	く深く認識	し、その解	Z決に向けてI	真摯に取り組む
	12 研修計画(テー	-マ・手法等)に	姿勢と	人権の視点	に立って職務を	遂行する	姿勢の確立に役	立つよう	、人権尊重	の理念や個	別の人権問題	の現状・課題、
評			人権行	政の動向を	テーマとした。							
1"			・管理・	監督職員に	は、人権問題を	巡る現状	を的確に認識し	、 人権尊	重社会の実	現に向け職	強責に応じ積札	亟的な役割を果
			たすこ	とができる	よう様々な人格	問題の現	状・課題や府の	入権行政	の推進方針	をテーマと	こした。	
			・また、	共通のテー	マとして新たに	策定され	た京都人権教育	・ 啓発推	進計画の居	知を図った		
			・研修の	対象者数や	テーマによりっ	「能な範囲	でグループ討議	義やワーク	ショップに	よる参加型	型研修を取りん	入れるようにし、
							が考え、交流					
			, , _ ,		. ,		3, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2,	, , , ,	4 ) (   E / E / E		<i>&gt;</i>	. = 0
	13 参加状況につい	17	・採用年	次や職位に	よる指名研修で	ずあり、公	務都合等特別な	(者を除き	対象者全員	の参加を得	早ている。	
	3,3,1,7,3,1,2,1		34147.13	., ( ) ( ) ( ) ( )				. д Сиз. С				
価			・アンケ	ートによる	と、一般職員で	では「人権	問題の重要性が	が再認識で	きた、「公	務員は人-	-倍人権に敏原	惑でなければな
	14 研修効果につい	1 <b>7</b>	らない	と感じた」	また、管理・監	督職員では	は、「府の方針か	「理解でき	た、「府民	の人権意識	の再構築に向	惑でなければな ]け頑張りたい」
		-	との感	想など、全	体として採用年	次や職位	による研修の趣	図旨に即し	た受け止め	がされてい	る。	
			・参加型	研修につい	ても、その有效	か性を評価	する感想が大半	≟を占めて	おり、効果	的な研修と	こなった。	
15	懇話会委員の助言を	を得たい事項等	•								·	

# 人権問題特別研修アンケート

(期間: 年月日)

職員研修・研究支援センターでは、よりよい研修を実施していくために、受研者全員にアンケートをお願いしています。 今回、受研された研修等について意見や感想をお聞かせください。

#### 両面記入

1 今回の	各研修科目についてお聞	きします		(該当番	号に	印をし、	感想を記入して〈ださい。)
研修科目	項目	はい <		ふつう	>	いいえ	感想
		大変良い		普通		いいえ	
	研修内容は期待どおりの						
	ものでしたか	1	2	3	4	5	
	研修内容は今後の職務に						
	役立つものでしたか	1	2	3	4	5	
	研修内容は人権問題の理						
	解を深めるものでしたか	1	2	3	4	5	
	講師の説明はわかりやす						
	かったですか	1	2	3	4	5	
	研修内容は期待どおりの						
	ものでしたか	1	າ	2	1	5	
		!					
		1	า	2	1	Е	
	役立つものでしたか 研修内容は人権問題の理			3	4	5	
			1	2	4	_	
	解を深めるものでしたか			3	4	5	
	講師の説明はわかりやす	4	2	2		_	
	かったですか	1	2	3	4	5	

- 2 **人権問題研修についてお聞きします。** (該当するものに 印をしてください。)
- (1) あなたが受研したいと思っておられる人権問題は何ですか。 (複数回答可)
  - ア 同和問題 イ 女性 ウ 子ども エ 高齢者 オ 障害のある人 カ 外国人
  - キ 患者等(エイズ・ハンセン病) ク 犯罪被害者 ケ ホームレス コ インターネットによる人権侵害
  - サ 個人情報の保護 シ 性同一性障害 ス 人権の基本的な考え方
  - セ その他(

(2)	人権	権問題を理解す	るた	めに、今	後と(	の研修	多から	充乳	星させ	tれに	ばよ	:ເ)—	層の対	力果だ	がある	らと思い	ます	<sup>-</sup> か。	
																(	单一回	]答)	
	ア	職員研修·研究	泛支援	センター	で実た	施する	研修	·		1	Ī	職場	で実施	する	研修				
	ウ	大学·世界人権	间題	研究セ	ンター	等が調	実施す	する研	肝修	I	-	自主	研修(	自己	啓発)	)			
	オ	その他(																)	
(3)	人梢	<b>重問題を理解す</b>	るたと	<b>かに、</b> ど	のよう	な研	修内	容に	すれ	ばよ	IJ₹	有効/	どと思	いま	すか。	(複	<b>製回</b>	答可)	
	ア	講義中心の研	修				1	ワー	-クシ	ョッブ	ゅ	意見	交換な	こどの	参加	型の研	F修		
	ウ	車イス・アイマス	スク等	の体験	学習		I	現均	也に行	うって	実:	地に	体得す	る現	地研	修			
	オ	自己啓発のたる	めのす	枚材の提	供														
	カ	その他(																)	
(4)	<b>Ξ</b> Ø	研修を含め、含	うまで	人権問	題研	多を受	きけて	気:	<b>うか</b> れ	たこ	:ح:	を、次	次の事	項か	6選	んでくだ	ださい	١.	
																	(複数	四答回》	可)
	ア	人権の考え方々	や人材	重問題に	ついて	て、新	たなタ	口識な	を得る	ること	がっ	できた	=						
	1	人権の考え方か	や人権	重問題に	ついて	.、さら	らに理	解を	深め	るこ	とか	バでき	た						
	ウ	既に知っている	内容	だったた	が、再研	隺認す	る意	味で	役立	った									
	I	様々な人権問題	題が花	存在する	ことに	配慮	して鵈	銭務を	遂行	<b>うしよ</b>	うと	思っ	た						
	オ	職務を通じては	tもち	ろん地垣	社会	におし	いても	、人	権問題	題の角	解污	夬に向	うけて	責極的	りに行	う動し よ	ょうとタ	思った	
	力	毎年同じような	内容:	であり、マ	研修効	果に	疑問:	を感	じた										
	‡	その他(																)	
(5) <b>1</b>		<b>を問題の解決に</b> ら取り組もうとし			-							,1るこ	とやほ	収り組	まれ	ている	らこと	、又は	., <b>ट</b>
	_																		
該当	する	ものに 印をして	こくだ	さい。															
(1)	銏	位	ア	主事·技	師	1	<b>主</b>	ş.	'n	丰任	F	Ţ	専門	昌	ォ	係長級	В		
(1)	-144	<u> </u>		課長補信			主幹					工 及以J		~		1/31 LX 114.	^		
(2)	年	齡	ア	10代	1	201	ť	ウ	3 0 <b>1</b> ⁴	ť	-	I 4	0代	オ	- 5	0代	カ	6 O A	<u> </u>

ご協力ありがとうございました。

## 平成17年度人権問題特別研修アンケート結果

京都府職員研修・研究支援センター

受研者数 1,241名

回答者 1,032名 (83.1%) 無回答 209名 (16.9%)

項目	はい	ふつう	いいえ
研修内容は期待どおりのものでしたか	5 5 %	3 5 %	1 0 %
研修内容は今後の職務に役立つものでしたか	5 1 %	3 8 %	1 1 %
研修内容は人権問題の理解を深めるものでしたか	6 3 %	2 7 %	1 0 %
講師の説明はわかりやすかったですか	6 7 %	2 3 %	1 0 %